



芦安中学校だより

第 5 号

校長 大石 浩雄

2024. 8. 30

☆県総体が終わりました

7月21日(日)、25日(木)の2日間にわたってバドミントン部の県総合体育大会が小瀬体育館で行われました。3年生にとっては中学校時代に取り組んだ部活動の集大成となる大会であり、多くの中学生が目標とする大会です。本校選手の中で唯一の3年生もこれまで積み上げてきた力を出し切り試合をすることができたように感じました。今回は最後の大会を終えた3年生に大会終了後に感じたことを書いてもらいました。どうぞ読んでみてください。



三年間の部活動を振り返って

三年間を通して僕が一番感じたことは、練習のメニューを立てる難しさです。2年の夏に部長になってからは、練習のときに、自分だけでなく他の部員の実力や体力に応じてメニューを考えるのが難しかったです。また、大会では、1、2年のときは、あまり勝てませんでしたが、3年になってからは、勝つことができるようになったので、日々の努力の大切さを実感しました。今後の勉強や部活動などでも、毎日の積み重ねを大切にしていきたいです。

☆ジョウビタキの親子から思ったこと

夏休みに入って校長室で仕事をしていたら換気扇のあたりから物がこすれるような音が聞こえてきました。換気扇の調子が悪くなったのかと思っていたところ、日に日に音が頻繁にしかも大きくなってきます。何だろうと外側に回って見たところ換気扇のフードに小さな鳥の巣がつけられ、その中でひなが何匹もじっとしていました。(大きな人間が突然のぞいたのでひなはびっくりしたことでしょう)なるほどと思いそのままそっとしておくことにしました。以後、様子を気にしていると、親鳥がえさを運んでくるとき以外ひなは静かにしていることや、親鳥は巣に近づく前に近くの木にとまって周囲の様子を観察して敵がいなかったことを確認していること等、小さな鳥であってもしっかりと生きる知恵を身に付けていることに気づきました。



最近の子供は自然そのものに興味がないという話をときどき聞きます。(自然の中に行ってもずっとスマホでゲームをしているといったことです)おそらく自然に触れる経験をほとんどせず、そのため自然の美しさや不思議さ、豊かさ、厳しさを知らない気づかないため興味もわかないのでしょう。ただ、自然に興味がなく自然について理解しないまま成長して、人類共通の課題である自然との共生や生態系の保全、環境問題などに正面から取り組むことができるのか心配になります。幸い芦安中学校の周りにはたくさんの自然があります。自然に目を向け、自然に興味に向くように、2学期の毎日の学校生活を送れるようにしたいと思います。

☆夏休み中の研修から

夏休み中に研修の一つとして「依存症」についての講演を聞く機会がありました。そのことについてお話をさせていただきます。現在WHO(世界保健機構)において4つの依存症が病とされているそうです。依存の対象は「薬物」「アルコール」「ギャンブル」「インターネットやゲーム」の4つです。この中で中高生を含む若年層にまで広がり、問題となっているのが「薬物」と「ネットやゲーム」です。「ネットやゲーム」についてはなんとなくわかる気がするけれど、「薬物」と聞くと大麻や覚せい剤などの違法薬物を思い浮かべ「うちの子は大丈夫」と思う方もいるかもしれません。しかし、最近は薬局で普通に買える市販薬を多量に摂取する「オーバードーズ」という形で薬物依存になっていくことが多いそうです。(ある調査では若者60人に1人がオーバードーズを経験したことがあるとの結果があるそうです)講演の中で依存症からの脱却に向き合っている方の話を聞くと、共通して子供時代から何かしら満たされない気持ちを抱えていたということがありました。親の無関心や過干渉、家庭内の暴力や暴言、



家族の介護の負担等それぞれではありましたが、子供時代はそれが当たり前と思ひ、抜け出せない状況であったことが依存症の入り口だったというのです。

「満たされない気持ち」というのは誰もが持っているものでしょう。大切なことはその気持ちが継続しないように、自分で問題解決を試みる、他者からのサポートを受けるといったことです。ただ、子供は未熟さ故に自身の中にある満たされない気持ち自体に気づかない、気づいても言葉でうまく表現できない、自身で解決法を見つけられない、他者に助けを求められないといったことがあります。芦安中学校の生徒がこれから先依存症とならないために、保護者や学校教職員など子供の周囲にいる大人がこのことを承知して、注意深く見守る、話に耳を傾ける、サポートをする等が必要だと改めて考えました。



☆いよいよ2学期がスタートします

本日8月30日(金)に2学期始業式が行われました。38日間の夏休みが終わり、久しぶりに生徒たちが顔を見せてくれました。きっと充実した夏休みを過ごしたでしょう、晴れやかで元気な顔を見てほっとした気持ちになりました。

さて、1学期の始業式や入学式、終業式、そして2学期の始業式と芦安中の生徒に向けて私が言い続けていることの一つにChallenge「挑戦」をすることの大切さがあります。その理由は、中学生くらいの年齢の人間が精神的に成長していくためには、多くの実体験を積み重ねることが必要だと思っているからです。失敗を恐れる気持ちや怠惰な気持ち、偏った価値観に基づく恥ずかしさ等で「やらない選択を続けてしまうこと」は、その大切な体験の機会を失うことだと思っています。

2学期は生徒が中心となり取り組む行事がいくつもあります。こうした活動を一生懸命取り組みたいと思う生徒がいる一方で、「やりたくない」という子もいるかもしれません。ただ、やらないで済ませばおそらく「学び」もないでしょう。Challenge「挑戦」をしてみても必ず成功する、よい体験をするとは限らず、つらい体験や苦い経験となることがあるかもしれません。それでも挑戦した体験や挑戦して結果を得た体験からは、きっと将来につながる「学び」があるはずで、芦安中学校は小規模な学校です。だからこそ生徒のChallenge「挑戦」を手厚くサポートすることができます。2学期が生徒にとって成長の時、飛躍の時になるようにしていきたいと思っています。

☆ふれあい運動会・白峰祭(はくほうさい)について

芦安中学校で実施してきた学園祭や運動会は、コロナ禍を経て実施の時期や内容等が変化してきました。ただ今年度は社会の状況等から実施時期や日程、内容等について昨年度から特に大きく変更をすることなく実施する予定です。(昨年の振り返り等を参考にして小変更は当然ありますが)概要は次の通りです。

芦安ふれあい運動会

- ・日時:令和6年9月21日(土)8:50~12:00 雨天順延の場合22日(日)
- ・参加者:小学生、中学生、保護者、地域住民
- ・おもな種目:小学生の演技発表、小中学生の合同競技、中学生の表現活動、小中学生保護者地域合同競技等

(小学生の踊りについては、練習期間の熱中症を避けるため運動会での発表から外す予定だそうです)

*保護者の方にも参加してもらおう競技を予定しております。ご協力をお願いします。

白峰祭

- ・日時:令和6年11月1日(金)13:30~15:00(準備・片づけを除く 時刻については変更の可能性あり)
- ・参加者:小学生、中学生(保護者や地域の方は参観ができます)
- ・おもな内容:小学生の合唱・合奏、中学生の発表(内容は未定)、小中合同太鼓演奏(小4~中3)、全員合唱等



以前の学校だよりも書かせていただきましたが、これらの行事は児童生徒が主体となって取り組むことで多くのことを学ぶ機会になるようにしたいと考えております。そのためにもまず練習や準備の段階から「休まず・任せず・あきらめず」に取り組むことが大切になります。学校でも小規模であることを生かしてできるだけ生徒の支援をしていきたいと思ひます。保護者のみなさまには、家庭における生徒へのサポートをお願いいたします。